

平成 30 年度 第 2 回 産業医科大学倫理委員会議事抄録

1 日 時 平成 30 年 5 月 11 日 (金) 13 : 30 ~ 16 : 15

2 場 所 1609 会議室

3 出席者 学内 : 藤野(昭)、中山、齋藤、原田、矢寺、阿南、庄司、長野、藤木、藤野(善)、榎本  
学外 : 櫻井、田中、小川  
欠席者 学内 : 足立  
学外 : 安元

4 報告事項等

(1) 平成 30 年度第 1 回産業医科大学倫理委員会議事抄録 (案) について

藤野 (昭) 委員長から、資料に基づき提案があり、審議の結果、原案どおり承認された。

(2) 平成 30 年度第 1 回迅速審査小委員会 (持ち回り) について

中山委員長から、5 件の審査結果について、委員の指摘事項に関する研究実施責任者の対応及び修正内容について委員長が確認したので、承認することとした、その内容は資料のとおりであるとの報告があった。

(3) DVD による「人を対象とする医学系研究倫理に関する講習会」について

藤野(昭)委員長から、次のとおり報告があった。

1) 4 月 25・26 日に開催し、合計 160 名が出席した。

2) 6 月 21・22・25 日にも同様の方法で開催予定である。

(4) モニタリング担当者指名について

藤野(昭)委員長から次のとおり報告があり、モニタリング担当者の所属・職名を 4 月 1 日付で変更したものを提出することとして、承認された。

セ H27-09

研究課題名 : 難治性・混合性うつ病の個別化治療アルゴリズムの構築を目的とする生物学的反応予測因子の探索的無作為比較試験

実施責任者 : 医学部 精神医学 教授 吉村 玲児

モニタリング担当 : 医学部 精神医学 助教 阿竹 聖和

(5) e ラーニングプログラム (CITI Japan) について

藤野(昭)委員長から、次のとおり報告があった。

1) 運営母体が「一般財団法人公正研究推進協会 (APRIN)」へ変わったことに伴い、新システムが導入され、受講手順が変更になった。

2) 更新期限 (コース受講期限及び修了証の有効期限) については 5 年間である。旧システムにおいて受講修了済みの場合は、その修了日に関わらず有効期限は平成 35 年 4 月 30 日までである。

(6) 第 57 回医学系大学倫理委員会連絡会議の開催について

藤野(昭)委員長から、7 月 2・3 日に仙台で開催されること並びに齋藤副委員長及び藤木委員が参加する旨の報告があった。

## 5 審議事項等

- (1) 第2外科学講座から提供された分子生物学講座保有の生体試料の学外への無断持ち出しについて

藤野(昭)委員長から、調査を依頼した日本医科大学倫理委員会からの回答文書について、資料に基づき説明があり、その内容について審議の結果、さらなる調査等の依頼はしないと結論に至り、この旨が承認された。

## 6 研究倫理審査

### (1) 新規申請

- ① 実施責任者： 医学部 放射線科学 助教 村上 優  
研究課題名： 膠芽腫の IDH 遺伝子変異と関連する MRI 画像所見の検討  
審査要旨： 事前審査の指摘事項に加え、以下の指摘事項があり、審査の結果、適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。  
[指摘事項]  
倫理審査研究計画書  
5. 実施計画 1) 対象者の選定方法（募集方法、選択基準・除外基準・中止基準等） b) 選択基準  
冒頭に、『以下のすべての基準を満たすこと』という記述を追加する。  
5. 実施計画 5) 方法 a) 研究デザイン  
1行目『膠芽腫の IDH 遺伝子の有無』は、『膠芽腫の IDH 遺伝子変異の有無』に改める。
- ② 実施責任者： 医学部 整形外科学 教授 酒井 昭典  
研究課題名： デュピュイトラン拘縮患者を対象としたコラゲナーゼ注射治療と腱膜切除術後の上肢機能及び費用効果の比較研究（CeCORD-J study）  
審査要旨： 事前審査の指摘事項に加え、以下の指摘事項があり、審査の結果、適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。  
[指摘事項]  
倫理審査研究計画書  
5. 実施計画 5) 方法 b) 研究の具体的方法 (13) 共同研究機関および共同研究者  
共同研究者は研究責任者に改める。  
5. 実施計画 5) 方法 b) 研究の具体的方法 (14) 外部委託 1) 研究事務局 2) データセンター及びデータマネジメント 3) 中央モニタリング  
株式会社ヌーベルプラスという会社名だけでなく、実際に担当する者の役職及び氏名の記述が必要である。  
5. 実施計画 5) 方法 c) 統計解析方法  
統計解析の方法について具体的に記述する。
- 参加者の方（患者さん）への説明文書  
12. 個人情報の取り扱い  
対象者の情報を外部の機関に提供することについて記述する。  
13. 試料・情報の保管及び廃棄の方法  
対象者から取得した個人情報の保管場所について記述する。
- ③ 実施責任者： 医学部 第2内科学 学内講師 岩瀧 麻衣  
研究課題名： 収縮後期僧帽弁逸脱に及ぼす弁形成術の効果： 一次性弁輪拡大による二次性

#### 逸脱の可能性に関する検討

審査要旨：事前審査の指摘事項に加え、以下の指摘事項があり、審査の結果、適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

倫理審査研究計画書

5. 実施計画 1) 対象者の選定方法（募集方法、選択基準・除外基準・中止基準等）  
2行目『心エコー図検査を施行された』及び3行目『僧帽弁形成術が施行された』とあるが、本研究は前向き観察研究であるので、修正が必要である。

- ④ 実施責任者： 医学部 医学教育担当教員 准教授 山本 幸代  
研究課題名： 小児期発症1型糖尿病の治療・予後改善のための多施設共同研究（第5コホート）

審査要旨：事前審査の指摘事項に加え、以下の指摘事項があり、審査の結果、適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

倫理審査研究計画書

5. 実施計画 1) 対象者の選定方法（募集方法、選択基準・除外基準・中止基準等）  
1行目に『選択基準』を追加する。

16歳と17歳の患者さんへの説明文書

1. はじめに

19行目の『あなたのお子さん』は『あなた』に改める。「2. 研究の意義」の1行目、「6. 予想される効果」1行目及び「7. 起こるかも知れない副作用」3行目も同様である。

- ⑤ 実施責任者： 産業生態科学研究所 呼吸病態学 准教授 和泉 弘人  
研究課題名： 健常者の血液内miRNAの基準値作成  
審査要旨：事前審査の指摘事項に加え、以下の指摘事項があり、審査の結果、適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

倫理審査研究計画書

8. 対象者に生じる利益、負担及び予測されるリスク 4) 対象者に不利益が生じた場合の措置方法  
『不利益が生じる可能性は低いため』は、「2) 対象者の負担及び予測されるリスク」及び「3) 対象者の負担、予測されるリスクを最小化する対策」での記述内容を踏まえ、『不利益が生じる可能性はないため』に改める。

- ⑥ 実施責任者： 産業生態科学研究所 呼吸病態学 准教授 和泉 弘人  
研究課題名： 血液がんにおけるDectin1（デクチン1）の発現解析とSPG核酸複合体による試験管内細胞増殖抑制評価  
審査要旨：審査の結果、以下の指摘事項について、適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

倫理審査研究計画書

7. 対象者の自由な選択と同意撤回の保障  
『拒否の申し出があった場合は同意撤回書を郵送する』とあるので、同意撤回書の添付が必要である。ただし、本学の様式には、『試料・情報につき、今回の研究に限り使用を認める』という文言があるため、修正が必要である。

8. 対象者に生じる利益、負担及び予測されるリスク 2) 対象者の負担及び予測されるリスク

次の「3) 対象者の負担、予測されるリスクを最小化する対策」に個人情報漏洩のための対策について記述しているので、その危険性についての記述が必要である。

12. 対象者から採取した生体試料及び個人情報の取扱い 2) 廃棄方法

利用の拒否の申し出があった場合の対応についての記述が必要である。

添付書類（対象者への説明文書）

- ・対象者が拒否の申し出が可能な期間を把握できるように、研究期間を記述する。
- ・利用を拒否する場合は、同意撤回書を郵送するので、必要事項を記入し返送していただくことの記述を追加する。

- ⑦ 実施責任者： 産業医科大学病院 血液内科 診療教授 塚田 順一  
研究課題名： 難治性成人造血器腫瘍に対する抗胸腺細胞免疫グロブリン（ATG）による GVHD 予防を用いた骨髄非破壊的同種造血幹細胞移植  
審査要旨： 審査の結果、以下の指摘事項について、適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

倫理審査研究計画書

4. 実施概要（研究の背景・目的・意義） 1) 研究の背景

誤植がある。2行目 GVHD) → GVHD

5. 実施計画 1) 対象者の選定方法（募集方法、選択基準・除外基準・中止基準等）選択基準

『以下の基準を満たす』は『以下の基準を全て満たす』に改める。

5. 実施計画 5) 方法 d) 評価項目（主要評価項目・副次評価項目等）

主要評価項目について、再検討を要する。

7. 実施事項等における倫理的配慮について 1) 対象者の自由な選択と同意撤回の保障  
同意書原本の保存先をカルテとしているが、研究室に変更する。

7. 実施事項等における倫理的配慮について 6) 研究情報（結果を含む）の対象者への開示及び公表の方法

誤植がある。1行目 あなた → 対象者

8. 対象者に生じる利益、負担及び予測されるリスク 3) 対象者の負担、予測されるリスクを最小化する対策

1行目『元来、移植は強力な治療であり、治療関連毒性および治療関連死亡も予想される』は、予測されるリスクに該当するので、削除し、「2) 負担及び予測されるリスクの総合的評価」に記述する。

12. 対象者から採取した生体試料及び個人情報の保管・廃棄方法 2) 廃棄方法

保存年数について、参加者の方（患者さん）への説明文書の「13. 試料・情報の保管及び廃棄の方法」に記載された内容と不一致であるので、整理する。

参加者の方（患者さん）への説明文書

5. 研究の方法 3) 研究方法 ①抗ヒト胸腺細胞ウサギ免疫グロブリン（ATG）サイモグロブリン

2行目『過剰な GVHD をしないように』は文意が不明であり、『過剰な GVHD を発生しないように』に改める。

5. 研究の方法 3) 研究方法 研究の検査予定

誤植がある。3行目 上記のスケジュール → 下記のスケジュール

7. 研究対象者に生じる利益、負担および予想されるリスク

3行目から4行目の『移植を断念していた患者さんが移植可能』は、『移植を断念していた患者さんにとって移植可能』に改める。

14. 研究の資金源等、研究機関の研究に係る利益相反及び個人の収益等、研究者等の研究に係る利益相反に関する状況

3行目から4行目の『本研究は、保険診療の範囲内で実施され、生着のためのキメラ解析検査のみが、産業医科大学病院血液内科の研究費から支出されます』は削除し、「17. 通常の診療を超える医療行為を伴う研究の場合には、他の治療方法等に関する事項」に記述する。

20. 侵襲を伴う研究の場合には当該研究によって生じた健康被害に関する補償の有無及びその内容

5行目から6行目の『なお、これらの治療によって健康被害が生じた場合の特別な補償の制度はありません』は誤りである。本学病院は対応する保険に加入しているので、保険会社名も含め、記述する。

23. 知的財産権について

2行目の『(特許権)』は削除する。

これに関連して、藤野（昭）委員長から、本研究は特定臨床研究には該当しないが、認定臨床研究審査委員会への意見聴取に努めることを義務付けられる研究に該当するので、本学に認定臨床研究審査委員会が設置された場合は、当該委員会の審査を受ける必要があるとの説明があった。

⑧ 実施責任者： 医学部 呼吸器内科学 准教授 城戸 貴志

研究課題名： 間質性肺炎におけるエンドカンの役割の解明

審査要旨： 審査の結果、以下の指摘事項について、適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

なお、本件の審議及び議決にあたっては、研究実施分担者である矢寺委員は退席した。

[指摘事項]

倫理審査研究計画書

7. 実施事項等における倫理的配慮について 1) 対象者の自由な選択と同意撤回の保障

本研究は、保存されている既存の試料・情報を用いるので、3行目から4行目の『人体から取得した試料を用いない研究に該当し』は誤りであり、指針の該当箇所を修正する。

12. 対象者から採取した生体試料及び個人情報の取扱い 2) 廃棄方法

7行目『研究終了後3年まで保管され』は、オプトアウトのための情報公開文書に記述された内容と不一致であり、整理する。また、『その後も可能な限り保管される』は、「3) 二次利用の有無」に記述された内容と矛盾しているので、研究代表者に確認が必要である。

オプトアウトのための情報公開文書

タイトル

『・健康人ボランティアの方』を削除する。

5. 研究の目的と意義

冒頭に本研究が多施設共同研究であることを記述する。

1行目『エンドカン』についてわかりやすい説明が必要である。

7. 個人情報の取り扱い

誤植がある。2行目 清洩 → 漏洩

提供先の長崎大学での保管、廃棄についての記述を追加する。

他の研究機関への新規または既存試料・情報の提供に関する届出書・記録作成して添付する。

これに関連して、藤野（昭）委員長から、呼吸器内科学（呼吸器内科）は、本研究に限らず、診療用として採取した患者の血液、肺組織及び気管支肺胞洗浄液の残余を研究に利用していることから、全患者向けに周知する文書を外来や病棟に掲示しておく必要がある所以对応願いたいと依頼していた、もしも、まだ対応していないのであれば早急に対応していただきたい旨、重ねて依頼があった。

⑨ 実施責任者：医学部 救急医学 教授 真弓 俊彦

研究課題名：急性肺炎の前向き多施設観察研究

審査要旨：審査の結果、以下の指摘事項について、適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

なお、本件の審議及び議決にあたっては、研究実施責任者である原田委員は退席した。

[指摘事項]

倫理審査研究計画書

5. 実施計画 5) 方法 b) 研究の具体的方法

本研究をコホート研究として成立させるためには、退院した者の追跡が必要であるので、見直しが必要である。

オプアウトのための情報公開文書

7. 個人情報の取り扱い

住所、電話番号などの個人情報を一切取り扱わないということであるが、対象者の追跡ができなくなるのではないか。

個人情報の保管と廃棄についての記述が計画書と一致していないので、整理する。

他の研究機関への新規または既存試料・情報の提供に関する届出書・記録作成して添付する。

⑩ 実施責任者：医学部 第2内科学 学内講師 荻ノ沢 泰司

研究課題名：非弁膜症性心房細動患者を対象としたカテーテルアブレーション周術期における経口FXa阻害剤エドキサバンの有効性及び安全性評価のための多施設共同臨床研究【KYU-RABLE研究】

審査要旨：審査の結果、以下の指摘事項について、適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

倫理審査研究計画書

20. その他 データ及びデータマネジメント 1) データ収集

紙媒体の全記録の写しを保存するとあるが、原本の扱いについての記述がないので、紙媒体の症例報告書を研究事務局（業務受託機関）に提供すること、その方法についての記述を追加する。

参加者の方（患者さん）への説明文書

23. 知的財産権の発生について

2行目『研究薬である「エドキサバン」の製造販売元である』は、削除する。

これに関連して、藤野（昭）委員長から、本研究は特定臨床研究に該当すると考えられることから、研究代表者である大分大学では、来年度は一括審査を行うことになるのか確認しておいていただきたい旨、研究実施責任者に対して依頼があった。

⑪ 実施責任者： 医学部 公衆衛生学 講師 久保 達彦

研究課題名： 熊本地震の災害医療対応を通じて蓄積された J-SPEED 活動日誌データの解析研究

審査要旨： 審査の結果、以下の指摘事項について、適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

倫理審査研究計画書

8. 対象者に生じる利益、負担及び予測されるリスク 4) 対象者に不利益が生じた場合の措置方法

本研究は既存データを対象とし、匿名化されている情報（特定の個人を識別できない）であるため、2行目から3行目の『予測し得ない不利益が生じた際には誠意をもって協議の上、円滑に解決を図るものとする』は削除する。

⑫ 実施責任者： 医学部 第1内科学 教授 田中 良哉

研究課題名： 自己免疫疾患患者におけるマスマイトメーターを用いた免疫担当細胞のフェノタイプ解析とその治療選択への応用

審査要旨： 審査の結果、以下の指摘事項について、適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

倫理審査研究計画書

5. 実施計画 1) 対象者の選定方法（募集方法、選択基準・除外基準・中止基準等）  
健全人の募集方法について記述する。

7. 実施事項等における倫理的配慮について 2) 対象者のプライバシー確保に関する対策（個人情報等の取り扱い方法）

4行目の『事務局』が唐突に出てくるので説明が必要である。

8. 対象者に生じる利益、負担及び予測されるリスク

4つの小項目に記述している内容が各項目名と不一致であり、整理が必要である。

12. 対象者から採取した生体試料及び個人情報の取扱い 1) 保管方法

7行目の『委託先（株式会社フリーダタイム）に郵送し』とあるが、その際の個人情報の取扱いについての記述を追加する。

参加者の方（患者さん及び代諾者の方）への説明文書

7. 研究対象者に生じる利益、負担および予想されるリスク (2) 予想される不利益（負担およびリスク）

採血時の不快感、情報漏洩の可能性について記述するなど、倫理審査研究計画書と記述内容を一致させる。

参加者の方（健常者の方）への説明文書

7. 研究対象者に生じる利益、負担および予想されるリスク (1) 予想される利益  
健常者にとっての内容になっていないので、修正が必要である。

12. 個人情報の取り扱い

対象者の個人情報の取得先がわかるように記述する。

1行目『個人情報（年齢、性別）』は『個人情報』に改める。「13. 試料・情報の保管

及び廃棄の方法」及び「21. 研究対象者から取得された試料・情報について、研究対象者等から同意を受ける時点では特定されない将来の研究のために用いられる可能性又は他の研究機関に提供する可能性がある場合には、その旨と同意を受ける時点において想定される内容」においても同様である。

(2) 新規申請（迅速審査）

- ① 実施責任者： 医学部 小児科学 学内講師 荒木 俊介  
研究課題名： インクルーシブ教育の実現を目的とした北九州市内の幼稚園・保育園における先天性心疾患をもつ児の就園及び AED 普及状況の調査  
審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。
- ② 実施責任者： 産業医科大学病院 臨床検査・輸血部 部長、診療教授 竹内 正明  
研究課題名： 新しい心エコー図指標による心臓再同期療法への治療反応予測に関する検討  
審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。
- ③ 実施責任者： 産業医科大学病院 整形外科 助教 鈴木 仁士  
研究課題名： 股関節唇損傷に対する股関節鏡手術における術前軟骨損傷予測方法の確立に関する研究  
審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。
- ④ 実施責任者： 産業医科大学若松病院 放射線科 助教 渡邊 啓太  
研究課題名： スカウト画像を用いた脳萎縮評価の有用性  
審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。
- ⑤ 実施責任者： 医学部 第2外科学 講師 市来 嘉伸  
研究課題名： 免疫チェックポイント阻害剤投与を行った肺癌症例の検討  
審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。

なお、本件の審議及び議決にあたっては、研究実施分担者である藤野（善）委員は退席した。

(3) 変更申請

- ① 実施責任者： 医学部 第1病理学 教授 久岡 正典  
研究課題名： ヒト固形腫瘍における新規分化関連マーカーの探索に関する研究  
審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。
- ② 実施責任者： 医学部 整形外科学 講師 川崎 展  
研究課題名： 人工膝関節置換術における骨切り法の評価  
審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。
- ③ 実施責任者： 医学部 第1内科学 准教授 岡田 洋右  
研究課題名： 2型糖尿病患者の生体リズムを調整するホルモンが糖・骨・血管・脂肪に及ぼす影響についての検討  
審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。



- ④ 実施責任者： 医学部 第1内科学 教授 田中 良哉  
 研究課題名： JAK 阻害薬（トファシチニブおよびバリシチニブ）とメトトレキサート併用療法による関節リウマチの疾患制御後休薬に関する研究  
 審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。
- ⑤ 実施責任者： 医学部 第2外科学 講師 市来 嘉伸  
 研究課題名： 神経内分泌肺腫瘍切除症例における予後規定因子の解析  
 審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。  
 なお、本件の審議及び議決にあたっては、研究実施分担者である藤野（善）委員は退席した。
- ⑥ 実施責任者： 医学部 眼科学 助教 渡部 晃久  
 研究課題名： ハイパードライヒト乾燥羊膜を用いた外科的再建術 再発翼状片（増殖組織が角膜輪部を超えるものに限る。）（多施設共同研究）  
 審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。
- ⑦ 実施責任者： 医学部 呼吸器内科学 助教 川端 宏樹  
 研究課題名： びまん性肺疾患患者における自己抗体の検出および臨床的意義の検討  
 審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。  
 なお、本件の審議及び議決にあたっては、研究実施責任者である矢寺委員は退席した。
- ⑧ 実施責任者： 医学部 呼吸器内科学 准教授 城戸 貴志  
 研究課題名： 特発性肺線維症に対するニンテダニブ効果予測バイオマーカーの前向き解析  
 審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。  
 なお、本件の審議及び議決にあたっては、研究実施分担者である矢寺委員は退席した。
- ⑨ 実施責任者： 産業生態科学研究所 放射線健康医学 教授 岡崎 龍史  
 研究課題名： 東京電力福島原子力発電所緊急作業従事者の放射線生物学影響の解析  
 審査要旨： 審査の結果、以下の指摘事項について、適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。  
 [指摘事項]  
 倫理審査変更申請書  
 2 変更理由 1 実施分担者の変更  
 1 行目から2行目『公益財団法人放射線影響研究所の児玉和紀先生が業務執行理事となり』の記述が繰り返されている。  
 2 変更理由 2 期間延長  
 誤植がある。1行目 3年経過 → 2年経過
- ⑩ 実施責任者： 産業生態科学研究所 放射線健康医学 教授 岡崎 龍史  
 研究課題名： 東京電力福島原子力発電所緊急作業従事者の放射線生物学影響の解析  
 「酸化ストレスマーカー尿中 8-OH d G の測定」  
 審査要旨： 審査の結果、「承認」とする。
- ⑪ 実施責任者： 医学部 精神医学 助教 手銭 宏文  
 研究課題名： 救急センターに搬送された自殺未遂者の自殺企図の再発防止に対する複合的

ケース・マネージメントに関する患者登録研究  
審査要旨：審査の結果、「承認」とする。

## 7 その他

(1) 研究終了報告 10 件及び進捗状況報告 41 件が承認された。

<終了報告> 10 件

- H26-025 実施責任者：産業生態科学研究所 呼吸病態学 准教授 和泉 弘人  
研究課題名：血液がんにおける Dectin1 (デクチン1) の発現解析と SPG 核酸複合体による試験管内細胞増殖抑制評価
- H26-045 実施責任者：医学部 第2内科学 教授 尾辻 豊  
研究課題名：心臓リハビリテーション時における酸素吸入の有用性の前向き試験
- H26-183 実施責任者：医学部 第1内科学 准教授 岡田 洋右  
研究課題名：トホグリフロジンの24時間血糖に及ぼす影響 -SGLT2 阻害薬対照クロスオーバー研究-
- H27-018 実施責任者：医学部 第1病理学 教授 久岡 正典  
研究課題名：次世代シーケンシングによる骨軟部腫瘍特異的融合遺伝子検出の試み
- H27-033 実施責任者：医学部 第1内科学 准教授 岡田 洋右  
研究課題名：2型糖尿病患者に対するカナグリフロジンの血糖コントロール及びインスリン投与量への影響に関する検討 (CONTROL study)
- H28-080 実施責任者：医学部 第1内科学 准教授 岡田 洋右  
研究課題名：日本人2型糖尿病患者のインスリン単位調節における、患者の自己調節群と医師調節群のQOL及び自己効力感に関する比較研究  
The COMparison of satisfaction between patient-led and physician-led titration groups Measured by QOL and self-efficacy scores In Japanese T2D patients (The COMMIT-patient)study
- H29-046 実施責任者：医学部 整形外科 学内講師 目貫 邦隆  
研究課題名：原発性骨粗鬆症患者におけるゾレドロン酸水和物投与における非ステロイド性抗炎症薬の急性期反応発現抑制効果を検証する多施設共同ランダム化比較試験
- H29-054 実施責任者：産業医科大学病院 臨床検査・輸血部 科長 高嶋 聡子  
研究課題名：洗浄血小板製剤輸血に係る有効性・安全性調査
- H29-138 実施責任者：医学部 精神医学 助教 阿竹 聖和  
研究課題名：国際疾病分類第11版 (International Statistical Classification of Diseases and Related Health Problems, 11th Revision:ICD-11) (精神および行動の障害) 診断ガイドライン案の信頼性および有用性の検討
- H29-244 実施責任者：医学部 皮膚科学 講師 澤田 雄宇  
研究課題名：生物学的製剤治療に係る乾癬患者の抗酸菌感染症発症状況の多施設共同観察研究

<進捗状況報告> 41件

- H23-41 実施責任者：医学部 第2外科学 教授 田中 文啓  
研究課題名：進行、再発肺扁平上皮癌に対するプラチナベース併用療法後のS-1維持療法 第II相試験
- H23-108 実施責任者：産業生態科学研究所 精神保健学 教授 廣 尚典  
研究課題名：職業性ストレス要因と生活習慣、心理的ストレス反応との関連：縦断データによる検討
- H23-137 実施責任者：医学部 第2外科学 教授 田中 文啓  
研究課題名：非扁平上皮非小細胞肺癌に対する術前導入療法としてのCisplatin + Pemetrexed + Bevacizumab 併用療法の検討
- H24-129 実施責任者：医学部 第2外科学 教授 田中 文啓  
研究課題名：切除可能な悪性胸膜中皮腫に対してペメトレキセド・シスプラチンの化学療法後に、胸膜切除/肺剥皮術を企図して完全切除を行う集学的治療の遂行可能確認試験
- H25-032 実施責任者：医学部 第2外科学 教授 田中 文啓  
研究課題名：完全切除非扁平上皮非小細胞肺癌に対するペメトレキセド+シスプラチン併用療法とビンレルビン+シスプラチン併用療法のランダム化比較第III相試験
- H25-156 実施責任者：医学部 第2外科学 教授 田中 文啓  
研究課題名：縦隔リンパ節転移を有するIII期非扁平上皮非小細胞肺癌に対する術前導入療法としてのシスプラチン+ペメトレキセド+ベバシズマブ併用療法もしくは、シスプラチン+ペメトレキセド+同時胸部放射線照射(45Gy)後の手術のランダム化比較第II相試験
- H25-186 実施責任者：医学部 第2外科学 教授 田中 文啓  
研究課題名：縦隔リンパ節転移を有するIII期肺原発扁平上皮癌に対する術前導入療法としてのシスプラチン+TS-1+同時胸部放射線照射(45Gy)後の手術の第II相試験
- H26-112 実施責任者：医学部 第2外科学 教授 田中 文啓  
研究課題名：肺尖部胸壁浸潤癌(Superior sulcus tumor:SST)に対する術前導入療法としてのシスプラチン(CDDP)+ティーエスワン(TS-1)+同時胸部放射線照射(66Gy)後の手術の有効性検証試験
- H26-246 実施責任者：医学部 精神医学 教授 吉村 玲児  
研究課題名：職域のうつ病回復モデル開発 ～うつ病・適応障害復職者における簡易型認知行動療法プログラムの効果検証～
- H27-172 実施責任者：産業生態科学研究所 精神保健学 教授 廣 尚典  
研究課題名：東電福島第一原発緊急作業従事者に対する疫学的研究「Nuclear Emergency Workers(NEW)Study」：心理的影響調査

- H28-103 実施責任者：医学部 精神医学 講師 堀 輝  
研究課題名：精神科医療の普及と教育に対するガイドラインの効果に関する研究
- H28-123 実施責任者：医学部 放射線科学 教授 興梠 征典  
研究課題名：強度変調放射線治療の線量不確定性を定量的に取り入れた線量分布の評価法を確立するための後ろ向き研究
- H28-135 実施責任者：医学部 精神医学 教授 吉村 玲児  
研究課題名：非接触バイタルセンシングシステムを用いたストレス評価方法の確立
- H28-157 実施責任者：医学部 分子生物学 講師 土井 知光  
研究課題名：肺癌における免疫チェックポイント阻害剤の効果予測因子の検索
- H28-179 実施責任者：医学部 放射線科学 准教授 青木 隆敏  
研究課題名：単純 X 線検査画像、CT 検査画像および MRI 検査画像を用いた関節リウマチの画像診断を支援するための画像解析に関する後ろ向き研究
- H28-181 実施責任者：産業保健学部 人間情報科学 講師 黒坂 知絵  
研究課題名：基盤的生命感覚アプローチによるストレス緩和の客観的評価に関する研究
- H28-228 実施責任者：医学部 精神医学 教授 吉村 玲児  
研究課題名：気分状態の安定した双極性障害患者の認知機能改善に対する Lurasidone 併用療法 (ELICE-BD) の有効性評価のための 6 週間のランダム化二重盲検プラセボ対照多施設試験
- H29-035 実施責任者：医学部 精神医学 助教 大塚 悠加  
研究課題名：健常人の認知機能と運転に及ぼす個人因子の検索
- H29-042 実施責任者：医学部 第 2 外科学 教授 田中 文啓  
研究課題名：縦隔リンパ節転移を有する IIIA 期 EGFR 遺伝子変異陽性非小細胞肺癌に対するエルロチニブによる術前導入療法後の外科的切除の第 II 相試験
- H29-055 実施責任者：医学部 精神医学 講師 堀 輝  
研究課題名：復職継続率と職種との関連について
- H29-065 実施責任者：産業医科大学病院 臨床検査・輸血部 部長、診療教授 竹内 正明  
研究課題名：心エコー図法を用いた軽症および中等症大動脈弁狭窄症患者における予後予測因子の検討
- H29-066 実施責任者：医学部 皮膚科学 講師 澤田 雄宇  
研究課題名：皮膚リンパ腫における予後規定因子としての TSCL1/CADM1 の役割
- H29-067 実施責任者：医学部 皮膚科学 講師 澤田 雄宇  
研究課題名：皮膚下 Atypical Lipomatous Tumor の臨床的特徴の検討
- H29-068 実施責任者：医学部 皮膚科学 講師 澤田 雄宇  
研究課題名：尋常性ざ瘡における IL-23 の関与の検討

- H29-069 実施責任者：医学部 皮膚科学 講師 澤田 雄宇  
研究課題名：乳房外パジェット病における PD-1 発現と進行度と予後の関連性
- H29-070 実施責任者：医学部 皮膚科学 講師 澤田 雄宇  
研究課題名：当院における乾癬治療中患者における乾癬性関節炎の実際
- H29-071 実施責任者：医学部 皮膚科学 講師 澤田 雄宇  
研究課題名：切除不能な悪性黒色腫患者における免疫療法投与前後の血球表面マーカーの解析
- H29-089 実施責任者：産業保健学部 人間情報科学 講師 黒坂 知絵  
研究課題名：効果的な情報教育法のための大学生における情報危機管理意識調査
- H29-095 実施責任者：医学部 第2外科学 教授 田中 文啓  
研究課題名：「エルロチニブ導入療法後の治療効果や予後予測のためのバイオマーカーの検索および耐性化機序の解明」  
縦隔リンパ節転移を有するⅢA期EGFR遺伝子変異陽性非小細胞肺癌に対するエルロチニブによる術前導入療法後の外科的切除の第Ⅱ相試験（PIT-3）における付随バイオマーカー研究
- H29-099 実施責任者：産業生態科学研究所 放射線健康医学 准教授 盛武 敬  
研究課題名：耳小骨CT検査における撮影法や画像再構成法の違いが画質及び放射線被ばく線量に与える影響に関する後ろ向き研究
- H29-108 実施責任者：産業医科大学病院 歯科口腔外科 准教授 大矢 亮一  
研究課題名：口腔癌間質における線維芽細胞による癌進展メカニズムの解明
- H29-115 実施責任者：医学部 皮膚科学 教授 中村 元信  
研究課題名：薬疹における自然免疫の関与の検討
- H29-127 実施責任者：医学部 精神医学 助教 手銭 宏文  
研究課題名：休職中の気分障害勤労者への集団精神療法の効果
- H29-135 実施責任者：医学部 精神医学 教授 吉村 玲児  
研究課題名：高ストレスの労働者に対する認知行動スキルを用いたセルフケア教育の実施可能性と有効性に関する研究
- H29-143 実施責任者：医学部 第2外科学 教授 田中 文啓  
研究課題名：肺切除後肺静脈断端の血栓形成に関する前向き観察研究
- H29-169 実施責任者：産業医科大学病院 臨床検査・輸血部 部長、診療教授 竹内 正明  
研究課題名：全自動左室機能解析ソフトの予後予測能に関する検討
- H29-171 実施責任者：産業医科大学病院 臨床検査・輸血部 部長、診療教授 竹内 正明  
研究課題名：大動脈弁狭窄症患者における進行度と左室機能の経時的な変化：3次元スペックルトラッキング図法による検討

- H29-210 実施責任者：医学部 第2外科学 助教 竹中 賢  
研究課題名：ALK 陽性肺癌に関するレトロスペクティブ研究  
-ALK 陽性肺癌に対するクリゾチニブ後にアレクチニブを投与する治療  
シーケンスの臨床効果の多施設共同後ろ向き研究-
- H29-211 実施責任者：医学部 皮膚科学 講師 澤田 雄宇  
研究課題名：皮膚悪性腫瘍の生命予後に与える Dermcidin の影響
- H29-216 実施責任者：産業保健学部 産業・地域看護学 助教 大森 美保  
研究課題名：企業における産業看護職の評価の実態、及び改善のための方策策定につ  
いての調査
- H29-244 実施責任者：医学部 皮膚科学 講師 澤田 雄宇  
研究課題名：生物学的製剤治療に係る乾癬患者の抗酸菌感染症発症状況の多施設共同  
観察研究